

第1章 概要

(1) 病院の概要

病 院 名	越谷市立病院
院 長	坂本 一博
開 院 年 月 日	昭和 51 年 1 月 12 日
診 療 科 目	内科、脳神経内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、 小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、 泌尿器科、産科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、 リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、病理診断科
許 可 病 床 数	一般病床 481 床
基 準 看 護 等 の 承 認	昭和 51 年 7 月 1 日 一般病床 特 2 類 昭和 63 年 7 月 1 日 4-1・7 病棟 特 3 類 平成 5 年 10 月 1 日 4-2・6-1・6-2 病棟 特 3 類 平成 6 年 10 月 1 日 全病棟 新看護 平成 12 年 4 月 1 日 一般病棟 入院基本料 I 群(1) 平成 18 年 4 月 1 日 一般病棟 入院基本料(10 対 1) 平成 23 年 6 月 1 日 一般病棟 入院基本料(7 対 1)
基 準 給 食 実 施 承 認	昭和51年 7 月 1 日
身 体 障 害 運 動 療 法 施 設 基 準 承 認	昭和52年 3 月 1 日
重 症 者 の 収 容 実 施 承 認	昭和62年 4 月 1 日
指 定 医 療 機 関	健康保険法、国民健康保険法、生活保護法、結核予防法、 身体障害者福祉法、原子爆弾被爆者に対する救護に関する 法律、母子保護法、母体保護法、労働者災害補償保険法、 児童福祉法、難病法
医 療 機 関 指 定 番 号	08・0105・0
救 急 告 示 病 院	令和 4 年 12 月 20 日 埼玉県告示第 1342 号 (昭和 51 年より)
臨 床 研 修 病 院	平成 15 年 10 月 30 日 厚生労働省発医政第 1030005 号 (平成 9 年より)
病 院 機 能 評 価	(公財)日本医療機能評価機構・審査区分 3rdG・Ver. 2.0 認定 認定第 GB374-5 号 認定期間 2023 年 3 月 17 日～2028 年 3 月 16 日

外来診療に関する事項

1. 診療受付

- (1) 受付時間
- | | |
|--------|---------------------------|
| 初診の方 | ・・・午前 8 : 15 ～ 午前 11 : 00 |
| 予約のない方 | ・・・午前 8 : 15 ～ 午前 11 : 00 |
| 予約のある方 | ・・・予約票の時間 |

- (2) 休診日
- 土・日曜日、祝日、休日
年末・年始(12月29日～1月3日)

2. 診療開始時間

午前 9 : 00

3. 救急患者受付

午前 8 : 30 ～ 翌日 午前 8 : 30(救急受付)

(2) 病院の沿革

昭 43 ・ 9 ・ 24	「越谷市立総合病院の建設について」地方自治法第 124 条の規定に基づき、昭和 43 年 8 月 26 日付をもって、自治会連合会長外 26 名より市議会議長に請願書が提出され、同年 9 月定例会において採択される。
昭 44 ・ 10 ・ 1	市立病院を建設するにあたり、大塚市長の指示により、市議会・越谷市医師会・順天堂大学・学識経験者・市の 5 者によって「市立病院建設準備委員会」を構成する。
昭 44 ・ 10 ・ 12	「第 1 回市立病院建設準備委員会」を開催するにあたり関係者の打ち合わせ会議を開催する。大塚市長の市立病院建設構想が発表される。内容は次のとおり。 ① 特に成人病を主とした専門病院とする。 ② 病床数は 300 床とする。 ③ 市医師会との競合はさけない。 ④ 救急センターも考慮する。
昭 45 ・ 2 ・ 3	「第 1 回市立病院建設準備委員会」を開催する。 ① 看護婦確保のため看護学校の建設 ② 市立病院の性格
昭 45 ・ 3 ・ 25	市議会に「市立病院建設特別委員会」を設置する。
昭 45 ・ 11 ・ 8	昭和 45 年 10 月 1 日付で大塚市長退職。市長選の結果、島村平市郎氏が当選する。
昭 46 ・ 2 ・ 18	市立病院建設特別委員会を開催。島村市長は「200 床の規模の市立病院を建設する」旨計画案を提出。建設工事費 10 億 5,000 万円、開院予定 50 年 4 月、付属施設も含め総工事費 12 億 2,100 万円。委員会はこれを承認する。
昭 47 ・ 2 ・ 10	第 2 回市立病院建設委員会開催。市長が次の事項について諮問する。 ① 市立病院の性格と診療科目の設定について ② 市立准看護学校の設置について ③ 市立病院の設計依頼業者の選定について
昭 47 ・ 3 ～ 9	第 3 回～第 8 回市立病院建設委員会を開催する。
昭 47 ・ 12 ・ 8	埼玉県知事に病院開設許可申請書を提出し、昭和 47 年 12 月 25 日申請どおり許可される。
昭 47 ・ 12 ・ 25	地方公営企業法の規定により病院事業を設置するため「越谷市病院事業の設置等に関する条例」を 12 月定例議会に提案し、原案通り可決される。
昭 48 ・ 4 ・ 9	越谷市立准看護学校開校する。
昭 48 ・ 9 ・ 28	市立病院建設特別委員会において、人口急増に伴う救急医療について検討した結果、脳神経外科・整形外科の設置と救急部門の整備充実について強い要望が出される。
昭 48 ・ 11 ・ 11	市長選の結果、黒田重晴氏が当選する。
昭 49 ・ 1 ・ 18	医師会より市立病院建設委員会への出席者辞退の申し入れ書が提出される。
昭 49 ・ 3 ・ 13	本館工事の起工式が行われる。

昭 49 ・ 5 ・ 29	市と医師会との間で越谷市の地域医療に対する意見の一致をみたので、声明文に市長並びに医師会長による署名が行われる。
昭 49 ・ 6 ・ 17	越谷市立病院のあり方等について市と医師会との間で合意に達し、埼玉県医師会長・越谷市議会議長の立ち会いのもとに協定書及び覚書が締結される。
昭 50 ・ 4 ・ 15	越谷市立高等看護学院開校する。(1部：3年課程、2部：2年課程)
昭 50 ・ 10 ・ 1	越谷市立病院建設事務局を「越谷市立病院」に組織名称を変更する。
昭 50 ・ 10 ・ 1	小谷新太郎氏院長に就任する。
昭 50 ・ 11 ・ 14	越谷市立病院竣工式が開催される。
昭 50 ・ 12 ・ 20	県知事より越谷市立病院の一部使用許可がある。(297床)
昭 51 ・ 1 ・ 1	県知事より保険医療機関指定を受ける。
昭 51 ・ 1 ・ 10	越谷市立病院開院式が開催される。
昭 51 ・ 1 ・ 12	越谷市立病院オープンする。(一般病床 90 床)
昭 51 ・ 3	越谷市立准看護学校指定を取り消し、閉校する。
昭 51 ・ 7 ・ 1	県知事より基準看護(特Ⅱ類)・基準給食・基準寝具設備実施の承認がある。
昭 52 ・ 4 ・ 27	越谷駅ー市立病院間にマイクロバスの運行を開始する(1日往復 32 便)。
昭 52 ・ 5 ・ 13	市立病院運営審議会(第 1 回)を開催。会長坂巻幸次氏・副会長石井節子氏が選任される。市長が次の事項について諮問する。 ① 診療科目の増設について(産科・整形外科) ② 外来診療科目の取扱いについて(補助診療科目の外来診療取扱い) ③ 紹介外来制の緩和について
昭 52 ・ 11 ・ 6	市長選の結果、島村慎市郎氏が当選する。
昭 53 ・ 2 ・ 1	市立病院長・副院長・各科部長が医師会に入会する。
昭 53 ・ 8 ・ 25	市立病院運営審議会から次のとおり答申される。 ① 救急部門の充実を期して諮問されている産科・整形外科・眼科・泌尿器科・耳鼻咽喉科・皮膚科については、救急部門で取り扱う。 ② 紹介外来制については、市立病院建設委員会における審議の経緯に鑑み、協定書を尊重して今後も存続させる。しかし、公的病院の性格からより良い医療の為、その制度の運営については、今後も検討を続けていくことが必要である。
昭 53 ・ 9 ・ 29	整形外科の開設に関する条例が制定公布される。
昭 53 ・ 11 ・ 1	産科・眼科・泌尿器科・耳鼻咽喉科・皮膚科の外来診療を開始する。
昭 53 ・ 12 ・ 31	小谷新太郎院長退職する。
昭 54 ・ 1 ・ 22	民営バス・ダイヤ改定による増発に伴い、マイクロバス運行を廃止する。
昭 54 ・ 2 ・ 1	1 日人間ドックを開始する。
昭 54 ・ 3 ・ 1	安井昭氏院長に就任する。
昭 54 ・ 4 ・ 1	整形外科の外来診療を開始する。
〃	人間ドック利用について、埼玉縣市町村職員共済組合と契約を締結する。
〃	54 年 3 月学校教育法第 82 条の 8 に規定する専修学校としての許可を受け、「越谷市立高等看護学院」を「越谷市立看護専門学校」と校名を改める。

昭 55 ・ 3 ・ 31	越谷市立看護専門学校 2 部（2 年課程）指定を取り消す。
昭 55 ・ 10 ・ 1	埼玉県東部第三地区第二次救急医療病院群に加入する。
昭 56 ・ 11 ・ 8	市長選の結果、島村慎市郎氏が当選する。（二期目）
昭 57 ・ 3 ・ 31	安井昭院長退職する。
昭 57 ・ 4 ・ 1	渡邊哲男氏院長に就任する。
昭 57 ・ 6 ・ 2	市医師会との協定書（昭和 49 年 6 月 17 日締結）を更改する。
昭 57 ・ 7 ・ 17	市立病院運営審議会を開催。会長に坂巻幸次氏、副会長に石井節子氏が選任される。市長が次の事項について諮問する。
昭 57 ・ 7 ・ 23	<p>① 越谷市立病院財政再建計画書（案）について</p> <p>市立病院運営審議会から次のとおり答申される。</p> <p>① 財政再建の基本方針</p> <p>越谷市立病院が、地域医療の基幹病院としての機能を今後とも十分に発揮するためには、可及的速やかに財政再建を実施すべきである。財政再建にあたっては、別添の「越谷市立病院財政再建計画書（案）」を再建の基本とすること。</p> <p>② 付帯事項</p> <p>(1) 計画の実施にあたっては、将来の経済的変動、医療の動向等を勘案し、財政再建に努めること。</p> <p>(2) 地域医療向上のため、市民と関係機関の理解と協力を得て、公的病院としての使命と責任を果たすよう努力すること。</p>
昭 57 ・ 7 ・ 26	県知事より「総合病院」の名称使用承認がある。
昭 57 ・ 12	病棟の改修整備工事を実施する。
昭 58 ・ 2 ・ 16	県知事より病棟の改修に伴う一部使用許可がある。
昭 59 ・ 1 ・ 25	市立病院運営審議会を開催。会長に松村武平治氏、副会長に倉持光治氏が選任される。
昭 59 ・ 11 ・ 13	<p>市立病院運営審議会を開催。市長が「診療科目の変更について」諮問する。</p> <p>即日、市立病院運営審議会から次のとおり答申される。</p> <p>「診療科目の変更については、呼吸器系疾患の患者の状況から専門的治療が必要であり、諮問のとおり市立病院において呼吸器科を設置することについては適当と認めます。なお、今後も市民の医療需要を的確にとらえ、地域医療機関との一層の連携のなかで基幹病院としての医療水準の向上に努力することを期待します。」</p>
昭 60 ・ 1 ・ 1	呼吸器科を新設するとともに一部診療科名を変更する。
昭 60 ・ 10 ・ 27	市長選の結果、島村慎市郎氏が当選する。（三期目）
昭 60 ・ 11 ・ 11	産科・婦人科において、全国初の「新不妊治療法」による出産に成功する。
昭 60 ・ 12 ・ 23	全国自治体病院協議会の招きにより、中国遼寧省丹東市第一医院の神経外科医・超栄家氏研修のため当院に着任する。（研修期間 3 ヶ月）
昭 61 ・ 1 ・ 12	市立病院開院 10 周年記念誌を発行する。
昭 61 ・ 2 ・ 3	市立病院運営審議会を開催。会長に松村武平治氏、副会長に浜野門平氏が選任さ

	れる。
昭 61 ・ 4 ・ 11	オーストラリアキャンベルタウン市公式視察団 24 名が来院する。
昭 62 ・ 5 ・ 28 ～ 6 ・ 6	中国遼寧省丹東市第一医院の郭連瑞院長の招請により、中国の医療事情を視察するため、渡邊哲男院長及び池谷不律副診療部長兼脳神経外科部長が訪中する。
昭 63 ・ 2 ・ 19	市立病院運営審議会を開催。会長に浅子進一氏、副会長に浜野門平氏が選任される。
昭 63 ・ 5 ・ 10	越谷市立病院と中国丹東市第一医院との間で、医学技術並びに医療水準の向上を図り、両院の発展と友好関係の充実に目的とし、「友好病院提携に関する合意書」の調印をする。
昭 63 ・ 7 ・ 1	県知事より 4-1 病棟（産科・婦人科病棟）、7 病棟（小児科病棟）が基準看護特三類実施の承認を得る。
昭 63 ・ 8 ・ 4	市立病院内に埼玉銀行市立病院出張所（ATM）が開設される。
昭 63 ・ 11 ・ 30	患者の受入れ、待ち時間の解消等を目的とした外来検討委員会より市立病院長へ協議内容の結果報告がなされる。
平 元 ・ 1 ・ 15	中国丹東市第一医院との友好病院提携により、丹東市第一医院の内科医・薬開健氏研修のため当院に着任する。（研修期間 6 ヶ月）
平 元 ・ 2 ・ 16	外来改善実施検討委員会が設置され、外来患者の待ち時間等に関する本格的な検討が始まる。
平 元 ・ 3 ・ 31	昭和 57 年度より 7 ヶ年計画で実施してきた市立病院運営審議会答申「財政再建計画」が終了し、懸案であった不良債権の解消が図られ、公営企業としての健全な財政運営を進められることになった。
平 元 ・ 5 ・ 8	中国丹東市第一医院との友好病院提携一周年記念式典に出席のため、渡邊哲男院長及び工藤吉郎救急科部長が訪中する。
平 元 ・ 10 ・ 29	市長選の結果、島村慎市郎氏が当選する。（四期目）
平 2 ・ 2 ・ 1	医事課コンピューター「医事会計システム」が本稼動し、外来患者の待ち時間の短縮を図る。
平 2 ・ 2 ・ 22	市立病院運営審議会を開催。会長に浅子進一氏、副会長に浜野門平氏が選任される。
平 2 ・ 7 ・ 6	院内研修として「医療事故防止について」の講演会を行う。
平 2 ・ 10 ・ 18	中国丹東市第一医院との友好病院提携により、丹東市第一医院の放射線医師・謝徳寧氏研修のため当院に着任する。（研修期間 6 ヶ月）
平 2 ・ 12 ・ 3	薬剤科において「自動処方せん受付装置・投薬表示装置」を設置する。
平 3 ・ 4 ・ 30	医事課受付「自動再来受付機」を導入し、医療サービスの向上を図る。
平 3 ・ 5 ・ 9	中国丹東市第一医院との友好病院提携により、丹東市第一医院の院長郭連瑞氏他 3 名の医師が当院を訪問する。
平 3 ・ 12 ・ 7	外来診療体制「土曜日一予約制」を開始する。（試行期間 3 ヶ月）
平 4 ・ 2 ・ 24	市立病院運営審議会を開催。会長に浜野門平氏、副会長に橋本敏章氏が選任される。

平 4・3・17	中国丹東市第一医院との友好病院提携により、丹東市第一医院の神経外科医師・王徳臣氏研修のため当院に着任する。(研修期間1年)
平 4・3・25	放射線科において「超電導磁気共鳴装置 (MRI)」を設置する。
平 4・3・31	院内電話交換機の改修工事を実施する。
平 4・5・19	中国丹東市第一医院との友好病院提携により、学术交流のため、黒川重雄放射線科部長及び小崎繁昭臨床検査科技師長が訪中する。(5・30 帰国)
平 4・7・10	県より 170 床の増床許可を受ける。
平 4・10・23	市立病院運営審議会を開催。増床計画の経過について説明する。
平 4・10・29 ～ 11・12	中国丹東市第一医院との友好病院提携により、丹東市第一医院の田晓华副院长、师志敏脳神経外科部長及び邹来純内科部長の3名が、研修のため、当院を訪問する。
平 5・2・1	循環器科において、「シネアンギオ装置」を設置する。
平 5・3・30	市立病院運営審議会を開催。市長が次の事項について諮問する。 ① 越谷市立病院施設整備計画の策定について
平 5・3・31	渡邊哲男院長退職する。
〃	放射線科において「血管造影撮影装置」を設置する。
平 5・4・1	渡部洋三氏院長に就任する。
平 5・4・19	市立病院運営審議会を開催。越谷市立病院施設整備計画(案)について審議される。
平 5・5・8	市立病院運営審議会・小委員会を開催。越谷市立病院整備計画(案)について審議される。
平 5・5・24	市立病院運営審議会を開催。越谷市立病院整備計画の策定について答申がある。
平 5・6・8	中国丹東市第一医院との友好病院提携により、学术交流のため、羽里信種副院长及び鈴木ミワ看護部長が訪中する。(6・17 帰国)
平 5・10・1	県知事より 4-2 病棟(循環器科病棟)、6-1 病棟(脳神経外科・眼科病棟)、6-2 病棟(外科病棟)が基準看護特三類実施の承認を得る。
平 5・11・11	市長選の結果、島村慎市郎氏が当選する。(五期目)
平 5・11・15	市立病院運営審議会を開催。平成4年度越谷市立病院事業会計決算状況について説明する。
平 5・12・1	中国丹東市第一医院との友好病院提携により、丹東市第一医院の院長郭連瑞氏当院を表敬訪問する。(12・14 帰国)
平 6・1・28	市立病院運営審議会を開催。「土曜日外来診療体制について」諮問する。(1・31 答申)
平 6・2・28	市立病院運営審議会を開催。会長に大野邦彦氏、副会長に浜野義臣氏が選任される。
平 6・4・11	市立病院運営審議会を開催。市長が次の事項について諮問する。 ① 医薬分業の導入について
平 6・5・2	増築工事を着工する。

平 6・5・11	市立病院運営審議会を開催。医薬分業について審議される。(5・19 答申)
平 6・5・24	中国丹東市第一医院との友好病院提携により、学术交流のため、渡部洋三院長及び山本勉副診療部長が訪中する。(6・2 帰国)
平 6・10・1	県知事より全7病棟が新看護2対1看護実施の承認を得る。
平 6・10・17	市立病院運営審議会を開催。平成5年度越谷市立病院事業会計決算状況について説明する。
平 7・3・16	中国丹東市第一医院との友好病院提携により、丹東市第一医院の放射線科医師・于濤氏研修のため当院に着任する。(研修期間6ヶ月)
平 7・5・11 ～ 5・25	中国丹東市第一医院との友好病院提携により、丹東市第一医院の李英民院長、李有源副院長及び王兆梅看護部長の3名が当院を表敬訪問する。
平 7・9・19	改修工事を着工する。
平 7・10・20	市立病院運営審議会を開催。平成6年度越谷市立病院事業会計決算状況について説明する。
平 8・2・29	市立病院運営審議会を開催。会長に大野邦彦氏、副会長に松永房太郎氏が選任される。
平 8・3	市立病院開院20周年記念誌を発行する。
平 8・4・26	増築棟竣工式が行われる。
平 8・5・1	特別の療養環境に係る特定療養費(室料差額)を導入する。
平 8・5・20	市立病院運営審議会を開催。「駐車場の有料化について」諮問する。(6・21 答申)
平 8・10・22	中国丹東市第一医院との友好病院提携により、平岩友道麻酔科部長及び杉本昭彦事務部長が訪中する。(10・31 帰国)
平 9・1・6	院外処方せんの発行を診療部の一部で始める。(7・7 全科で実施)
平 9・1・9	中国丹東市第一医院との友好病院提携により、丹東市第一医院の外科医師・張輝氏研修のため当院に着任する。(研修期間6ヶ月)
平 9・3・31	放射線科において、「医用リニアック及び放射線治療システム」を設置する。
平 9・4・1	厚生省より臨床研修病院に指定される。
平 9・6・18 ～ 7・1	中国丹東市第一医院との友好病院提携により、丹東市第一医院の郭本臣行政副院長、千興泉医事部長、馬志山薬剤科部長及び姜政偉放射線科医師の4名が当院を表敬訪問する。
平 9・9・30	市立病院運営審議会を開催。平成8年度越谷市立病院事業会計決算状況について説明する。
平 9・10・26	市長選の結果、板川文夫氏が当選する。
平 10・3・11	改修工事が竣工する。
平 10・4・6	4-1病棟の診療が開始され、10病棟となる。
平 10・4・9	市立病院運営審議会を開催。会長に大野邦彦氏、副会長に松永房太郎氏が選任される。
平 10・5・26	中国丹東市第一医院との友好病院提携により、学术交流のため、横松守内科部長、津村秀憲外科部長及び井上京子看護部長が訪中する。(6・4 帰国)

平 10 ・ 8 ・ 6	市立病院運営審議会を開催。「神経内科の新設について」諮問する。(8・6 答申)
平 10 ・ 10 ・ 1	神経内科診療を開始する。
〃	朝日バスが運行開始される。(南越谷駅北口～市立病院～花田・市立図書館)
平 10 ・ 10 ・ 26 ～ 11 ・ 6	越谷市制施行 40 周年記念式典参加及び友好病院提携 10 年を記念し、中国丹東市第一医院郭連瑞名誉院長、李紹溪院長、武曉内科主任及び謝德寧 CT 科副主任の 4 名が来院する。
平 11 ・ 5 ・ 13	中国丹東市第一医院との友好病院提携により、丹東市第一医院の放射線科医師・何徳飛氏研修のため当院に着任する。(研修期間 1 年)
平 11 ・ 5 ・ 25	中国丹東市第一医院との友好病院提携により、学术交流のため、松本文夫手術室長及び丸木親脳神経外科部長が訪中する。(6・3 帰国)
平 11 ・ 9 ・ 1	越谷市立病院倫理委員会を設置する。
平 11 ・ 10 ・ 1	越谷市立病院脳死判定委員会を設置する。
平 11 ・ 10 ・ 20	市立病院運営審議会を開催。脳死判定委員会の設置を報告する。
平 12 ・ 3 ・ 31	渡部洋三院長退職する。
平 12 ・ 4 ・ 1	山本勉氏院長に就任する。
平 12 ・ 4 ・ 17 ～ 4 ・ 28	中国丹東市第一医院との友好病院提携により、丹東市第一医院の周俊武行政副院長、姜彩华中医科主任及び孔杰辰神経内科主任の 3 名が当院を表敬訪問する。
平 12 ・ 5 ・ 17	市立病院運営審議会を開催。会長に大野邦彦氏、副会長に松永房太郎氏が選任される。
平 12 ・ 10 ・ 1	渡部洋三氏名誉院長となる。
平 12 ・ 10 ・ 16	越谷市医師会との病診連携事業を開始する。
平 12 ・ 11 ・ 15	タローズバスが運行開始される。(新越谷駅東口～市立病院～吉川・松伏工業団地)
平 13 ・ 4 ・ 1	診療情報の提供を開始する。
平 13 ・ 5 ・ 24	中国丹東市第一医院との友好病院提携により、丹東市第一医院副院長(外科医師)吳瑤強氏研修のため当院に着任する。(研修期間 6 ヶ月)
平 13 ・ 9 ・ 21	北葛南部医師会との病診連携事業を開始する。(9・21 吉川支部、10・9 三郷支部、10・24 松伏支部)
平 13 ・ 10 ・ 4	埼玉県医師会より臨床検査精度管理事業最優秀施設として表彰される。
平 13 ・ 10 ・ 28	市長選の結果、板川文夫氏が当選する。(二期目)
平 14 ・ 5 ・ 28	中国丹東市第一医院との友好病院提携により、学术交流のため、山本勉院長、大日方薫小児科部長及び須中信之庶務課管理係長が訪中する。(6・7 帰国)
平 14 ・ 7 ・ 31	市立病院運営審議会を開催。会長に大野邦彦氏、副会長に青木並五郎氏が選任される。「非紹介患者の初診に係る特定療養費制度の導入について」諮問する。(10・30 再審議、11・7 答申)
平 14 ・ 9 ・ 27	草加八潮医師会との病診連携事業を開始する。
平 15 ・ 3 ・ 3	オーダーリングシステムの一部を供用開始する。
平 15 ・ 3 ・ 17	(財)日本医療機能評価機構の認定(一般病院種別 B)を受ける。
平 15 ・ 6 ・ 23	外来診療費自動精算機を供用開始する。

平 15 ・ 10 ・ 1	初診に係る特定療養費制度を導入。
平 15 ・ 10 ・ 30	厚生労働省より（新）臨床研修病院に指定される。
平 15 ・ 11 ・ 21	市立病院運営審議会を開催。平成 14 年度越谷市立病院事業会計決算状況について説明する。
平 16 ・ 3 ・ 1	レセプト電算処理を開始する。
平 16 ・ 4 ・ 1	経営健全化プロジェクトを開始する。
平 16 ・ 5 ・ 1	新制度による臨床研修医を受け入れる。
平 16 ・ 8 ・ 27	市立病院運営審議会を開催。会長に大野邦彦氏、副会長に青木並五郎氏が選任される。
平 16 ・ 11 ・ 1 ～ 11 ・ 12	中国丹東市第一医院との友好病院提携により、中国丹東市周世有衛生局長、丹東市第一医院王伟副院長、謝徳寧放射線科部長の 3 名が当院を表敬訪問する。
平 16 ・ 12 ・ 13	入院の電子カルテの供用を開始する。
平 17 ・ 1 ・ 20	入院診療費自動精算機（デビットカード専用）を供用開始する。
平 17 ・ 2 ・ 14	開放型病床を開始する。
平 17 ・ 3 ・ 31	越谷市立看護専門学校が閉校される。
平 17 ・ 4 ・ 15	総合案内ボランティアが活動を開始する。
平 17 ・ 5 ・ 23	越谷市立病院個人情報保護対策委員会を設置する。
平 17 ・ 9 ・ 29	開放型病院共同指導料の施設基準に係る届出を行う。
平 17 ・ 9 ・ 30	音楽ボランティアグループが活動を開始する。
平 17 ・ 10 ・ 30	市長選の結果、板川文夫氏が当選する。（三期目）
平 18 ・ 3	市立病院開院 30 周年記念誌を発行する。
平 18 ・ 8 ・ 29	市立病院運営審議会を開催。会長に青木並五郎氏、副会長に田中東穂氏が選任される。
平 19 ・ 3 ・ 28	市立病院運営審議会を開催。越谷市立病院「経営ビジョン」の承認を得る。
平 19 ・ 4 ・ 1	事務部組織変更により庶務課、医事課の係を担当制に変更するとともに、庶務課に経営調整担当、医事課に医療連携担当を設置する。
平 19 ・ 7 ・ 1	中央材料室及び中央手術室の整備改修工事により ME 機器室を新設するとともに中央材料室の名称を中央滅菌室に変更する。
平 19 ・ 10 ・ 1	SPD が稼動を開始する。
平 20 ・ 4 ・ 1	院内保育所「さくら保育室」を開所する。
平 20 ・ 6 ・ 16	（財）日本医療機能評価機構「病院機能評価（一般 200 床以上 500 床未満）」の更新認定（Ver.5）を受ける。
平 20 ・ 7 ・ 1	診療群分類包括評価を用いた入院医療費の定額支払い制度（DPC）による診療報酬請求を開始する。
平 20 ・ 8 ・ 27	市立病院運営審議会を開催。会長に飯島亮氏、副会長に河原常美氏が選任される。
平 21 ・ 10 ・ 25	市長選の結果、高橋努氏が当選する。
平 21 ・ 11 ・ 6	市立病院運営審議会を開催。会長に河原常美氏、副会長に鯉淵肇氏が選任される。
平 22 ・ 3 ・ 24	市立病院運営審議会を開催。越谷市立病院「第二期中期経営計画」の承認を得る。

平 22 ・ 4 ・ 1	診療部薬剤科の係を担当制に変更する。
平 22 ・ 7 ・ 1	6-2 病棟に脳卒中ケアユニット 3 床を開設する。
平 22 ・ 8 ・ 27	市立病院運営審議会を開催。会長に河原常美氏、副会長に高橋剛三氏が選任される。
平 23 ・ 3 ・ 31	山本勉院長退職する。
平 23 ・ 4 ・ 1	津村秀憲氏院長に就任する。
平 23 ・ 4 ・ 1	山本勉氏名誉院長となる。
平 23 ・ 4 ・ 18	タローズバスが運行開始される。(せんげん台駅～市立病院)
平 23 ・ 5 ・ 1	順天堂大学に地域総合診療研究講座を開設する。
平 23 ・ 9 ・ 30	市立病院運営審議会を開催。平成 22 年度越谷市立病院事業会計決算状況について説明する。
平 24 ・ 3 ・ 14	内視鏡室等増築工事(西棟)竣工。
平 24 ・ 4 ・ 1	内視鏡センターを開設する。
平 24 ・ 4 ・ 1	埼玉県がん診療指定病院に指定される。
平 24 ・ 10 ・ 1	市立病院運営審議会を開催。会長に河原常美氏、副会長に高橋剛三氏が選任される。
平 25 ・ 3 ・ 22	市立病院運営審議会を開催。越谷市立病院「第三期中期経営計画」の承認を得る。
平 25 ・ 4 ・ 1	がん治療センターを開設する。
平 25 ・ 6 ・ 1	産科病棟等を改修し、病棟編成を改める。
平 25 ・ 6 ・ 7	(財)日本医療機能評価機構「病院機能評価」の更新認定(Ver.6)を受ける。
平 25 ・ 10 ・ 15	市立病院運営審議会を開催。「越谷市立病院の診療費等に関する条例の一部改正について」諮問する。(10・18 答申)
平 25 ・ 10 ・ 27	市長選の結果、高橋努氏が当選する。(二期目)
平 26 ・ 2 ・ 3	あけぼの駐車場を供用開始する。
平 26 ・ 4 ・ 1	診療部中央診療部門に臨床工学科を新設する。
平 26 ・ 7 ・ 1	標榜科目に病理診断科を追加する。
平 26 ・ 10 ・ 1	市立病院運営審議会を開催。会長に河原常美氏、副会長に佐藤佐氏が選任される。
平 27 ・ 1 ・ 30	研修センター棟竣工。
平 27 ・ 3 ・ 24	営繕棟竣工。
平 27 ・ 3 ・ 31	津村秀憲院長退職する。
平 27 ・ 4 ・ 1	丸木親氏院長に就任する。
平 28 ・ 3 ・ 16	市立病院運営審議会を開催。越谷市立病院「第四期中期経営計画」の承認を得る。
平 28 ・ 4 ・ 26	エネルギーセンター棟改修工事竣工。
平 28 ・ 5	市立病院開院 40 周年記念誌を発行する。
平 28 ・ 10 ・ 3	市立病院運営審議会を開催。会長に佐藤佐氏、副会長に筑後幸恵氏が選任される。 「越谷市立病院の診療費等に関する条例の一部改正について」諮問する。
平 29 ・ 10 ・ 3	市立病院運営審議会を開催。会長に筑後幸恵氏、副会長に大沢昌太郎氏が選任される。

平 29 ・ 10 ・ 29	市長選の結果、高橋努氏が当選する。(三期目)
平 30 ・ 7 ・ 2	市立病院運営審議会を開催。「越谷市立病院の診療費等に関する条例の一部改正について」答申を受ける。
平 30 ・ 9 ・ 7	(財) 日本医療機能評価機構「病院機能評価」の更新認定(3rdG:Ver. 1.1)を受ける。
平 30 ・ 10 ・ 10	市立病院運営審議会を開催。会長に筑後幸恵氏、副会長に大沢昌太郎氏が選任される。
平 31 ・ 1 ・ 1	初診時選定療養費を改定。
平 31 ・ 3 ・ 29	市立病院運営審議会を開催。越谷市立病院「第五期中期経営計画」の承認を得る。
令 元 ・ 10 ・ 2	市立病院運営審議会を開催。会長に大沢昌太郎氏、副会長に藤田照子氏が選任される。「越谷市立病院の診療費等に関する条例の一部改正について」諮問する。(10・15 答申)
令 2 ・ 7 ・ 8	市立病院運営審議会を開催。「越谷市立病院の診療費等に関する条例の一部改正について」諮問する。(7・21 答申)
令 2 ・ 9 ・ 16	1階ロビーにカフェがオープンする。
令 2 ・ 10 ・ 21	市立病院運営審議会を開催。会長に大沢昌太郎氏、副会長に藤田照子氏が選任される。
令 3 ・ 1 ・ 1	初診時選定療養費を改定。
令 3 ・ 10 ・ 31	市長選の結果、福田晃氏が当選する。
令 4 ・ 3 ・ 30	市立病院運営審議会を開催。副会長に中村幸弘氏が選任される。越谷市立病院「第六期中期経営計画」の承認を得る。
令 4 ・ 7 ・ 13	市立病院運営審議会を開催。「越谷市立病院の診療費等に関する条例の一部改正について」諮問する。(7・27 答申)
令 4 ・ 10 ・ 19	市立病院運営審議会を開催。会長に石崎一宏氏、副会長に中村幸弘氏が選任される。
令 5 ・ 1 ・ 1	初診時選定療養費を改定。
令 5 ・ 3 ・ 17	(公財) 日本医療機能評価機構「病院機能評価」の更新認定(3rdG:Ver. 2.0)を受ける。
令 5 ・ 10 ・ 18	市立病院運営審議会を開催。会長に深井晃氏が選任される。
令 6 ・ 4 ・ 17	市立病院運営審議会を開催。「越谷市立病院の紹介受診重点医療機関の公表及び選定療養費の改訂について」を諮問する。(同日答申)
令 6 ・ 7 ・ 1	埼玉県から紹介受診重点医療機関として公表される。
令 6 ・ 10 ・ 1	初診時選定療養費を改定。再診時選定療養費を設定。
令 6 ・ 10 ・ 23	市立病院運営審議会を開催。会長に深井晃氏、副会長に中村幸弘氏が選任される。
令 7 ・ 3 ・ 31	丸木親院長退職する。
令 7 ・ 4 ・ 1	坂本一博氏院長に就任する。 丸木親氏名誉院長となる。

(3) 届出に関する事項

(R07.3.31現在)

(3) -1 基本診療料に関する事項

1. 情報通信機器を用いた診療に係る基準	令和 4年 8月 1日算定開始	(情報通信)第295号
2. 一般病棟入院基本料	令和 6年10月 1日算定開始	(一般入院)第2326号
3. 救急医療管理加算	令和 2年 4月 1日算定開始	(救急医療)第141号
4. 診療録管理体制加算 3	令和 4年 4月 1日算定開始	(診療録2)第29号
5. 医師事務作業補助体制加算 1	令和 2年 4月 1日算定開始	(事補1)第78号
6. 急性期看護補助体制加算	令和 4年10月 1日算定開始	(急性看補)第126号
7. 看護職員夜間配置加算	令和 6年12月 1日算定開始	(看夜配)第22号
8. 療養環境加算	平成29年 8月 1日算定開始	(療)第12号
9. 重症者等療養環境特別加算	平成29年 8月 1日算定開始	(重)第9号
10. 医療安全対策加算 1	令和 5年10月 1日算定開始	(医療安全1)第254号
11. 感染対策向上加算 1	令和 6年12月 1日算定開始	(感染対策1)第16号
12. 褥瘡ハイリスク患者ケア加算	平成24年 6月 1日算定開始	(褥瘡ケア)第41号
13. ハイリスク妊娠管理加算	平成21年 4月 1日算定開始	(ハイ妊娠)第5号
14. ハイリスク分娩管理加算	平成21年 4月 1日算定開始	(ハイ分娩)第8号
15. 後発医薬品使用体制加算 2	令和 4年 4月 1日算定開始	(後発使2)第135号
16. 病棟薬剤業務実施加算 1	令和 4年 7月 1日算定開始	(病棟薬1)第167号
17. データ提出加算	平成26年 4月 1日算定開始	(データ提)第19号
18. 入退院支援加算	令和 6年11月 1日算定開始	(入退支)第18号
19. 認知症ケア加算	令和 6年11月 1日算定開始	(認ケア)第211号
20. せん妄ハイリスク患者ケア加算	令和 2年 4月 1日算定開始	(せん妄ケア)第63号
21. 地域医療体制確保加算	令和 4年10月 1日算定開始	(地医確保)第52号
22. 新生児特定集中治療室管理料 2	平成30年10月 1日算定開始	(新2)第12号
23. 小児入院医療管理料 3	令和 5年 4月 1日算定開始	(小入3)第32号

(3)ー2 特掲診療料に関する事項

1. 心臓ペースメーカー指導管理料の注5に規定する遠隔モニタリング加算	令和 2年 4月 1日算定開始	(遠隔ペ)第22号
2. がん性疼痛緩和指導管理料	平成29年 8月 1日算定開始	(がん疼)第72号
3. がん患者指導管理料イ	令和 4年 4月 1日算定開始	(がん指イ)第31号
4. がん患者指導管理料ロ	平成26年 4月 1日算定開始	(がん指ロ)第21号
5. がん患者指導管理料ハ	平成29年 8月 1日算定開始	(がん指ハ)第4号
6. がん患者指導管理料ニ	令和 2年 4月 1日算定開始	(がん指ニ)第12号
7. 糖尿病透析予防指導管理料	令和 6年 7月 1日算定開始	(糖防管)第117号
8. 乳腺炎重症化予防ケア・指導料	令和 2年 8月 1日算定開始	(乳腺ケア)第47号
9. 婦人科特定疾患治療管理料	令和 2年 9月 1日算定開始	(婦特管)第107号
10. 地域連携小児夜間・休日診療料 1	平成21年10月 1日算定開始	(小夜1)第29号
11. 地域連携夜間・休日診療料	平成22年 4月 1日算定開始	(夜)第12号
12. 院内トリアージ実施料	平成27年 1月 1日算定開始	(トリ)第59号
13. 夜間休日救急搬送医学管理料の注3に規定する救急搬送看護体制加算	令和 2年 4月 1日算定開始	(救搬看体)第78号
14. 外来腫瘍化学療法診療料 1	令和 6年 6月 1日算定開始	(外化診1)第25号
15. 連携充実加算	令和 4年 9月 1日算定開始	(外化連)第86号
16. 外来腫瘍化学療法診療料の注9に規定するがん薬物療法体制充実加算	令和 6年 6月 1日算定開始	(外化薬)第8号
17. 開放型病院共同指導料	平成26年 4月 1日算定開始	(開)第31号
18. 薬剤管理指導料	平成29年 8月 1日算定開始	(薬)第173号
19. 医療機器安全管理料 1	平成29年 8月 1日算定開始	(機安1)第79号
20. 在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料の注2	令和 4年 9月 1日算定開始	(在看)第60号
21. 遺伝学的検査	平成30年 9月 1日算定開始	(遺伝検)第29号
22. B R C A 1 / 2 遺伝子検査	令和 4年 4月 1日算定開始	(B R C A)第19号
23. 先天性代謝異常症検査	令和 6年 7月 1日算定開始	(先代異)第21号
24. H P V 核酸検出及びH P V 核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	平成29年 8月 1日算定開始	(H P V)第131号
25. ウイルス・細菌核酸多項目同時検出	令和 4年11月 1日算定開始	(ウ細多同)第8号
26. ウイルス・細菌核酸多項目同時検出(髄液)	令和 6年 6月 1日算定開始	(ウ細多同)第1号
27. 検体検査管理加算(Ⅰ)	平成20年 4月 1日算定開始	(検Ⅰ)第14号
28. 検体検査管理加算(Ⅱ)	令和 4年10月 1日算定開始	(検Ⅱ)第161号
29. 遺伝カウンセリング加算	平成31年 3月 1日算定開始	(遺伝カ)第19号
30. 心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	平成29年10月 1日算定開始	(血内)第3号
31. 時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	平成29年 8月 1日算定開始	(歩行)第27号
32. ヘッドアップティルト試験	平成29年 8月 1日算定開始	(ヘッド)第20号
33. 神経学的検査	平成29年 8月 1日算定開始	(神経)第10号
34. 黄斑局所網膜電図	令和 2年 4月 1日算定開始	(黄網電)第3号
35. 小児食物アレルギー負荷検査	平成21年10月 1日算定開始	(小検)第31号
36. 画像診断管理加算 1	令和 7年 2月 1日算定開始	(画1)第59号
37. 画像診断管理加算 2	令和 7年 2月 1日算定開始	(画2)第64号

38.	ポジトロン断層撮影	平成29年 6月 1日算定開始	(ポ断)第8号
39.	C T撮影及びMR I 撮影	平成28年 8月 1日算定開始	(C・M)第629号
40.	冠動脈C T撮影加算	平成24年11月 1日算定開始	(冠動C)第39号
41.	心臓MR I 撮影加算	平成22年 7月 1日算定開始	(心臓M)第22号
42.	乳房MR I 撮影加算	令和 2年 4月 1日算定開始	(乳房M)第25号
43.	抗悪性腫瘍剤処方管理加算	平成22年 4月 1日算定開始	(抗悪処方)第29号
44.	外来化学療法加算 1	平成29年 8月 1日算定開始	(外化1)第12号
45.	無菌製剤処理料	平成20年 4月 1日算定開始	(菌)第17号
46.	脳血管疾患等リハビリテーション料(I)	平成29年 8月 1日算定開始	(脳I)第65号
47.	運動器リハビリテーション料(I)	平成29年 8月 1日算定開始	(運I)第122号
48.	呼吸器リハビリテーション料(I)	平成29年 8月 1日算定開始	(呼I)第25号
49.	エタノールの局所注入(甲状腺)	平成29年 8月 1日算定開始	(エタ甲)第6号
50.	エタノールの局所注入(副甲状腺)	平成29年 8月 1日算定開始	(エタ副甲)第5号
51.	導入期加算 1	平成31年 3月 1日算定開始	(導入1)第173号
52.	ストーマ合併症加算	令和 6年 6月 1日算定開始	(スト合)第26号
53.	組織拡張器による再建手術 (乳房(再建手術)の場合に限る)	平成28年 4月 1日算定開始	(組再乳)第18号
54.	骨移植術 (軟骨移植術を含む)(自家培養軟骨移植術に限る)	平成29年 6月 1日算定開始	(自家)第15号
55.	椎間板内酵素注入療法	令和 2年 4月 1日算定開始	(椎酵注)第24号
56.	脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	平成23年 6月 1日算定開始	(脊刺)第31号
57.	緑内障手術 (緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	平成30年12月 1日算定開始	(緑内イ)第14号
58.	緑内障手術 (緑内障手術(流出路再建術(眼内法)及び水晶体再建) 術併用眼内ドレーン挿入術)	令和 4年 6月 1日算定開始	(緑内眼ド)第66号
59.	緑内障手術(濾過胞再建術(needle法))	令和 4年 6月 1日算定開始	(緑内ne)第33号
60.	乳がんセンチネルリンパ節加算 1 及びセンチネル リンパ節生検(併用)	平成29年 8月 1日算定開始	(乳セ1)第36号
61.	乳がんセンチネルリンパ節加算 2 及びセンチネル リンパ節生検(単独)	平成22年 4月 1日算定開始	(乳セ2)第17号
62.	食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの) 内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術 胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの) 小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの) 結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの) 腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの) 尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの) 膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの) 腔腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)	令和 6年11月 1日算定開始	(穿瘻閉)第31号
63.	経皮的中隔心筋焼灼術	平成29年10月 1日算定開始	(経中)第11号
64.	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	平成29年 8月 1日算定開始	(ペ)第16号
65.	大動脈バルーンポンピング法(I A B P法)	平成29年 8月 1日算定開始	(大)第14号
66.	腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)	令和 4年 7月 1日算定開始	(腹リ傍側)第13号
67.	腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)	令和 4年 7月 1日算定開始	(腹胆床)第12号

68.	体外衝撃波胆石破碎術	平成10年 7月 1日算定開始	(胆)第12号
69.	腹腔鏡下肝切除術	令和 4年 9月 1日算定開始	(腹肝)第29号
70.	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	令和 2年 4月 1日算定開始	(早大腸)第54号
71.	内視鏡的小腸ポリープ切除術	令和 4年 7月 1日算定開始	(内小ポ)第18号
72.	体外衝撃波腎・尿管結石破碎術	平成29年 8月 1日算定開始	(腎)第27号
73.	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	平成29年 2月 1日算定開始	(腹膀)第12号
74.	腹腔鏡下仙骨隆固定術	平成29年 7月 1日算定開始	(腹仙骨固)第3号
75.	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る)	平成28年 8月 1日算定開始	(腹子)第3号
76.	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る)	平成30年 4月 1日算定開始	(腹子頸)第1号
77.	腹腔鏡下子宮癒痕部修復術	令和 4年 7月 1日算定開始	(腹癒修)第6号
78.	医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術	平成27年 7月 1日算定開始	(胃瘻造)第154号
79.	医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)	令和 4年 4月 1日算定開始	(子宮附遺伝)第7号
80.	輸血管管理料Ⅱ	平成29年 8月 1日算定開始	(輸血Ⅱ)第90号
81.	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	平成24年 6月 1日算定開始	(造設前)第34号
82.	麻酔管理料(Ⅰ)	令和 6年 5月 1日算定開始	(麻管Ⅰ)第37号
83.	高エネルギー放射線治療	平成14年 4月 1日算定開始	(高放)第7号
84.	病理診断管理加算1	平成26年 8月 1日算定開始	(病理診1)第18号
85.	悪性腫瘍病理組織標本加算	平成30年 7月 1日算定開始	(悪病組)第21号
86.	看護職員処遇改善評価料5.5	令和 5年 8月 1日算定開始	(看処遇5.5)第4号
87.	外来・在宅ベースアップ評価料(Ⅰ)	令和 7年 2月 1日算定開始	(外在ベⅠ)第1366号
88.	入院ベースアップ評価料6.8	令和 7年 2月 1日算定開始	(入ベ6.8)第6号

(3)ー3 入院時食事療法に関する事項

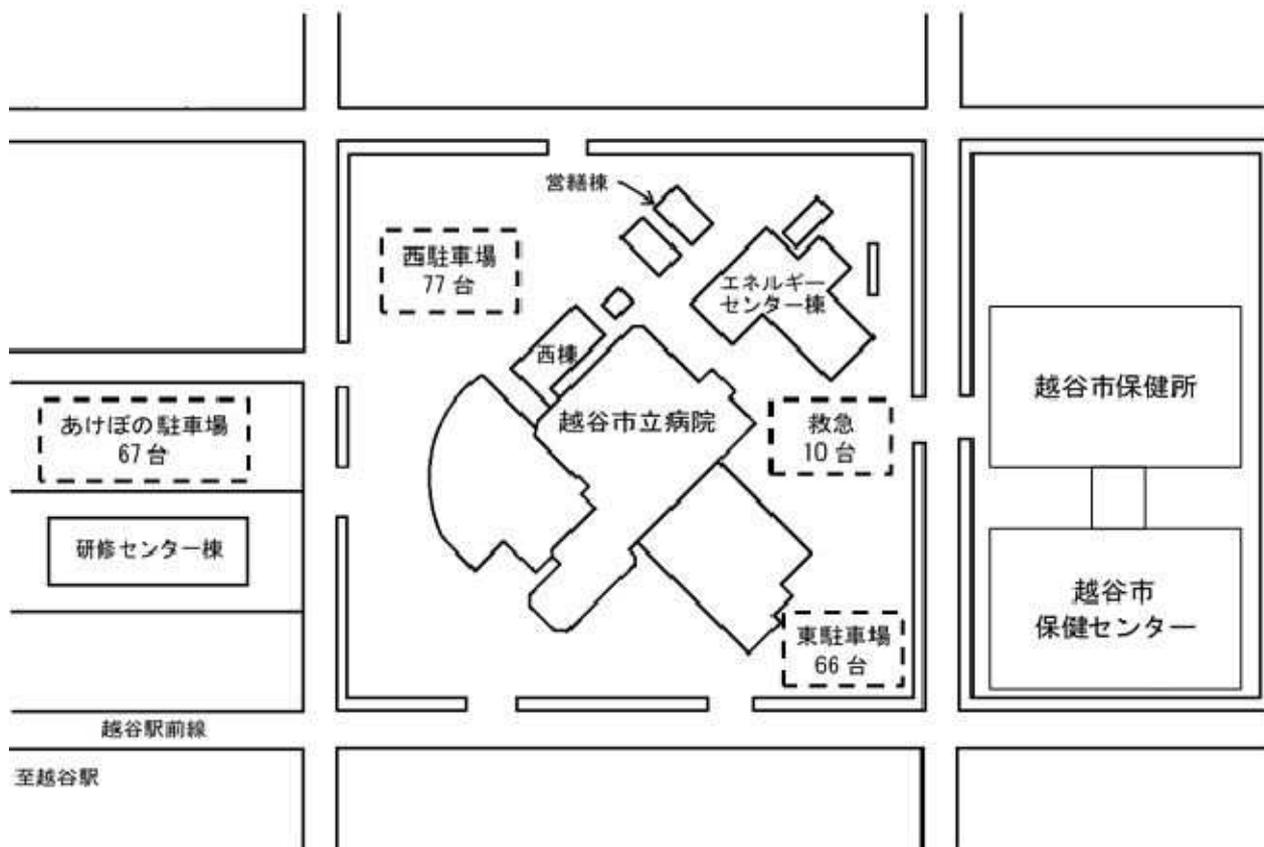
1.	入院時食事療養／生活療養(Ⅰ)	昭和51年 7月 1日算定開始	(食)第152号
----	-----------------	-----------------	----------

(4) 配置図等

(4)-1 配置図 (増築棟・既存棟)

増築棟		既存棟		西棟	
		塔屋 2F 181.982 m ²	エレベーター 機 械 室	3F 349.84 m ²	会 議 室
塔屋 1F 57.826 m ²	エレベーター 機 械 室	塔屋 1F 160.657 m ²	機 械 室	2F 358.66 m ²	外 来 治 療 室 が ん 治 療 セ ン タ ー 患 者 相 談 室
8F 1,113.890 m ²	8 - 1 病 棟	8F 709.855 m ²	医 局 ・ 図 書 室	1F 363.84 m ²	内 視 鏡 セ ン タ ー 医 療 相 談 室
7F 1,088.020 m ²	7 - 1 病 棟	7F 1,061.934 m ²	7 - 2 病 棟 お お ぞ ら 学 級		
6F 1,088.020 m ²	6 - 1 病 棟	6F 1,438.485 m ²	6 - 2 病 棟		
5F 1,088.020 m ²	5 - 1 病 棟	5F 1,438.485 m ²	5 - 2 病 棟		
4F 1,088.020 m ²	4 - 1 病 棟	4F 1,438.485 m ²	4 - 2 病 棟		
3F 1,075.020 m ²	3 - 1 病 棟	3F 1,781.526 m ²	滅 菌 管 理 室 手 術 室 心 臓 カ テ ー テ ル 検 査 室 臨 床 工 学 科 麻 酔 科 外 来		
2F	1,211.594 m ²	2F	外 ・ ・ ・ ・ ・ 病 臨 院 副 診 看 庶 看 レ 眼 泌 産 外 消 中 看 理 床 院 療 護 護 ス 尿 ・ 化 央 護 診 検 長 部 部 務 部 ト 器 婦 器 血 外 断 查 長 長 務 事 人 来 科 科 科 科 科 室 来 科 科 室 室 室 室 課 室		
外 ・ ・ ・ ・ 人 機 呼 循 内 小 間 吸 環 ド 器 器 児 ツ 械 来 科 科 科 科 室 室		3,067.534 m ²			
1F	2,131.350 m ²	1F	外 ・ ・ ・ ・ ・ リ 救 ・ ・ 警 理 栄 栄 女 カ 經 整 皮 耳 腦 腦 ハ 救 1 備 養 子 フ 營 形 鼻 神 神 リ ハ 急 1 容 相 養 休 ア レ 企 膚 咽 經 經 テ 急 2 員 談 憩 ス ル 画 外 喉 外 内 シ ョ 部 病 室 室 室 室 課 来 科 科 科 科 科 科 門 科 棟 室 室 室 室 課		
医 新 再 入 会 製 散 売 患 機 患 来 退 計 剤 調 者 サ ポ 械 事 受 受 受 受 剤 室 セ ン タ ー 室		3,043.756 m ²			
B1F	1,557.092 m ²	B1F	放 解 標 靈 X 男 射 フ 子 剖 本 安 ル 休 線 ム 保 憩 科 室 室 室 庫 室		
薬 カ 診 ベ リ 機 S 劑 療 ン ド ネ (清 潔 ・ 械 P テ 録 ド メ イ ク ン 不 潔) セ ン タ ー 科 室 室 室 室 室) 室 1		2,048.636 m ²			

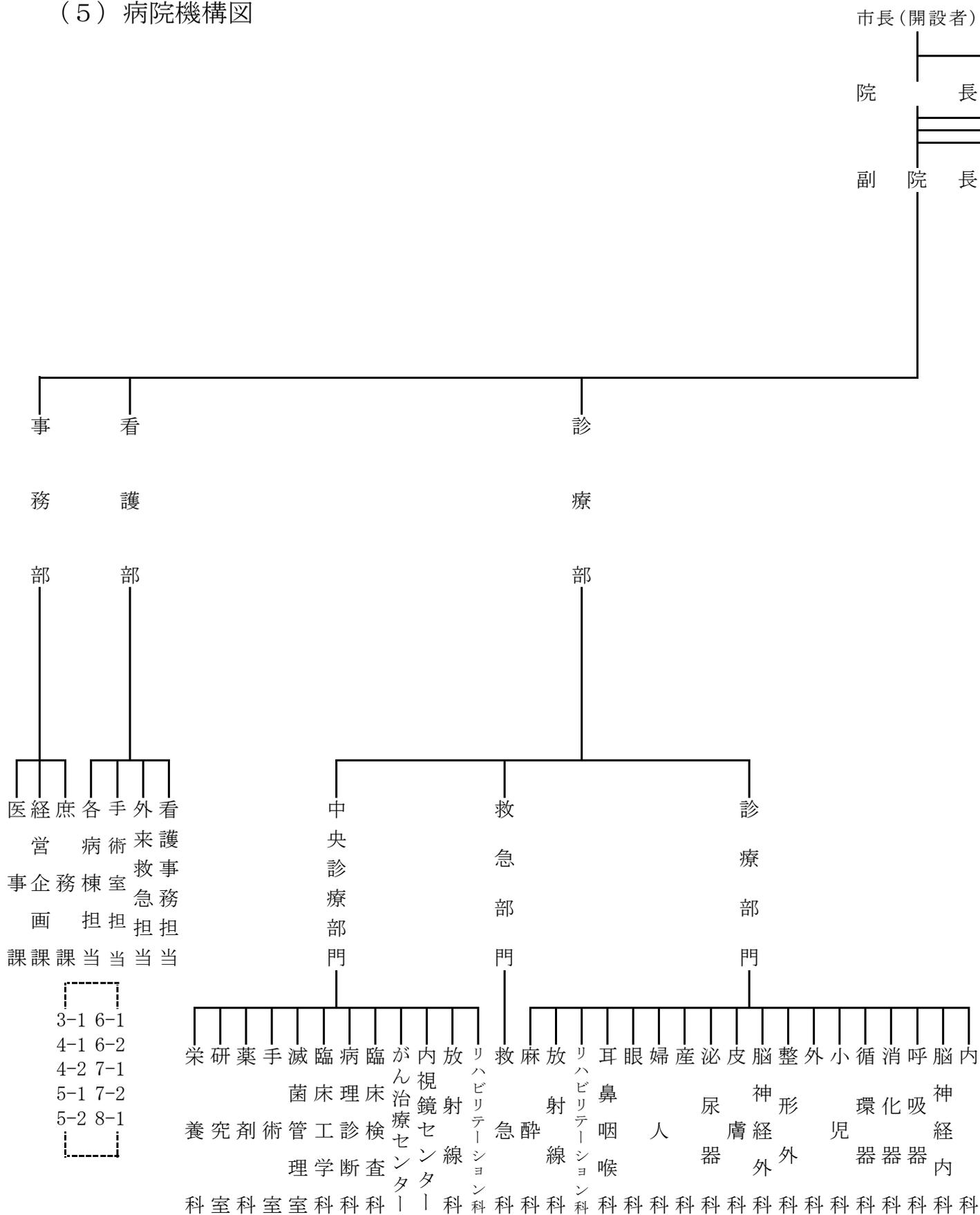
(4) - 2 配置図



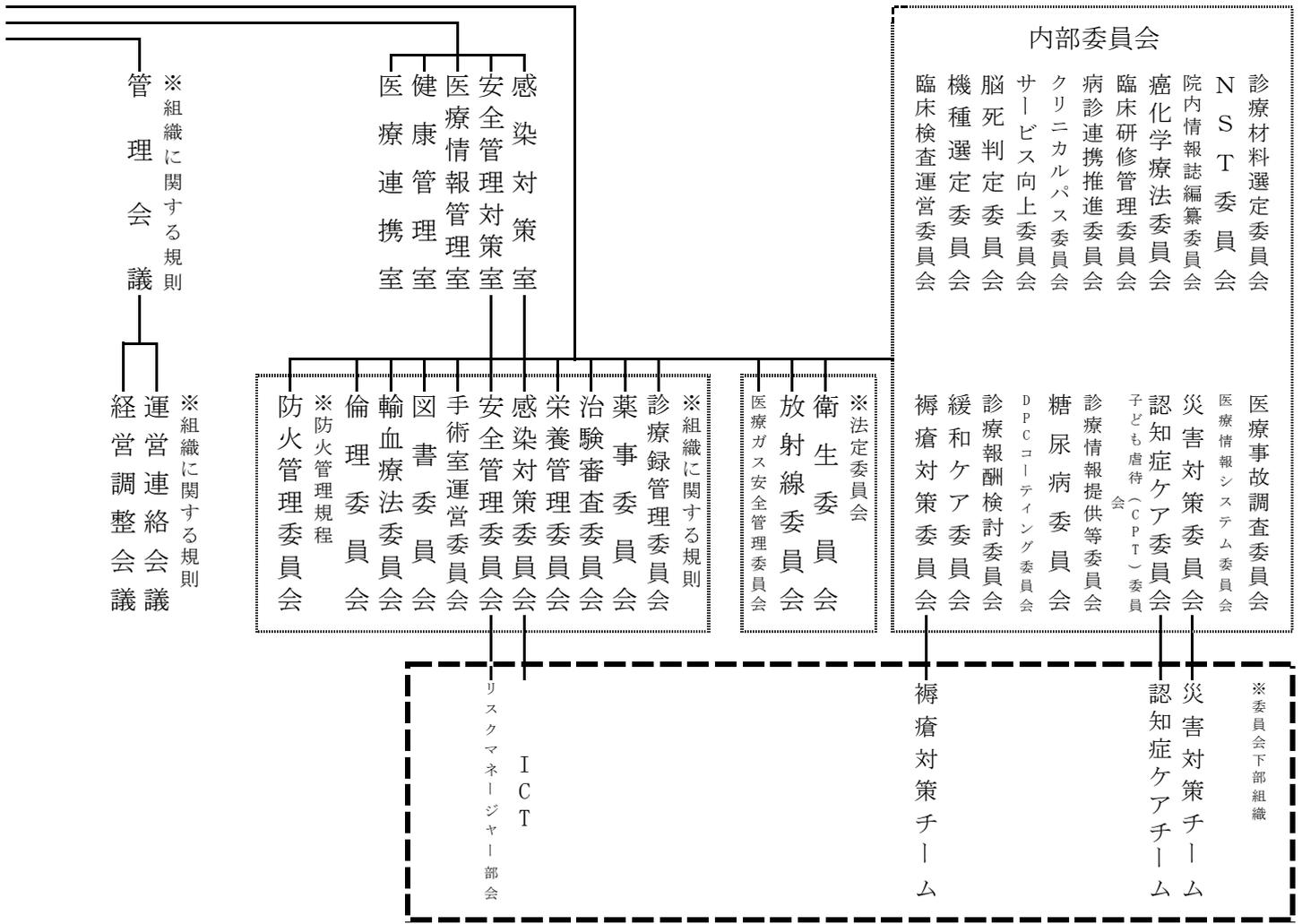
(4) - 3 病棟配置

病棟	令和7年1月31日まで	令和7年2月1日から
3-1	循環器科・脳神経外科・脳神経内科・HCU	循環器科・脳神経外科・脳神経内科・HCU・救急(後方)
4-1	婦人科・外科・混合	婦人科・外科・内科・泌尿器科
4-2	産科・女性専用	産科・女性専用
5-1	消化器科・皮膚科・外科・混合	消化器科・皮膚科・内科
5-2	外科・整形外科	外科・内科
6-1	整形外科	整形外科
6-2	脳神経外科・脳神経内科・HCU	脳神経外科・脳神経内科・HCU・救急(後方)
7-1	内科・泌尿器科・混合	病棟休止
7-2	小児科	小児科・耳鼻咽喉科
8-1	呼吸器科・眼科・耳鼻咽喉科・混合	呼吸器科・眼科・泌尿器科

(5) 病院機構図



※ 運 営 審 議 会 条 例
運 営 審 議 会



(6) 施設の概要

(6)-1 建物の概要

建物 区分	既 存 棟	増 築 棟	エネルギー センター棟	西 棟	営 繕 棟	研 修 センター棟
所 在 地	越谷市東越谷十丁目 32 番地					越谷市東越谷 十丁目 33 番地 3
敷 地 面 積	21,013.90 m ²					2,106.96 m ²
建 物 構 造	SRC B1F ～ 8F 塔屋 2F	SRC B1F ～ 8F 塔屋 1F	SRC B1F ～ 2F	S 1F ～ 3F	S 1F ～ 2F	S 1F
床 面 積	16,371.335 m ²	11,498.852 m ²	2,075.11 m ²	1,072.34 m ²	180.00 m ²	901.39 m ²
工 期	S49.4.1～ S50.12.25	H6.5.2～ H8.3.15	S49.4.1～ S50.12.25	H23.7.10～ H24.3.15	H26.12.4～ H27.3.25	H26.6.16～ H27.1.30

(6) - 2 施設の概要

◎ 電気

1. 受電及び契約電力

6KV 3相 3線 50Hz 1,300KW

2. 変電設備

(イ) 主変電所 (エネルギーセンター棟)

変圧器：動力用 計 1,000KVA

電灯用 計 800KVA

放射線機器用 計 1,700KVA

その他用 計 300KVA

(ロ) 第2変電所 (エネルギーセンター棟)

増築棟用

変圧器：動力用 計 1,100KVA

電灯用 計 1,000KVA

(ハ) 西棟変電所 (キュービクル)

変圧器：動力用 計 150KVA

電灯用 計 75KVA

3. 発電設備

(イ) 発電機 3相 6KV 50Hz 1,000KVA

(ロ) 発電機 3相 6KV 375KVA

増築棟用

4. 蓄電設備

(イ) 全密閉据置鉛蓄電池 DC100V 600AH

(ロ) 全密閉据置鉛蓄電池 DC100V 200AH

増築棟用

◎ 衛生

1. 給水設備

受水槽 2槽 病院棟

高架水槽 2槽 病院棟

揚水ポンプ 2台 病院棟

2. 衛生設備

ポンプ 38台 病院棟

◎ 空調

1. 熱源設備

冷温水発生機 500USRT 2基

炉筒煙管式ボイラー 2缶

2. 空調設備

空調系統数 43系統

ファンコイルユニット 580基

全熱交換器 31基

◎ 昇降機

1. 病院本館用エレベーター

乗用エレベーター9人乗 2基

乗用油圧エレベーター 1基

患者輸送用エレベーター 3基

入荷用エレベーター 1基

配膳用エレベーター 1基

エスカレーター 2基 (昇降)

西棟乗用エレベーター11人乗 1基

◎ 搬送

1. 自動気送設備 38ステーション

◎ 医療ガス

液体酸素、酸素、笑気、窒素、圧縮空気

◎ その他

電話 IP-PBX DISCOVERY neo2

汚水処理 公共下水道へ接続

換気設備 50台

排煙設備 5台

冷蔵設備 1台

消火設備 屋内散水栓、連絡送水管、
スプリンクラー、
炭酸ガス消火設備

監視制御設備

動力設備

放送設備

通信設備

防災設備

(7) 主要医療機器等一覧 (購入額1千万円以上及びリース分を含む)

【内科】

(注)*はリース分

購入年度	品名	規格	数量	メーカー等
R4	セントラルモニタ	PU-611R	1	日本光電

【循環器科】

購入年度	品名	規格	数量	メーカー等
H22	循環器動画面ネットワークシステム	Cardio Agent	1	東芝メディカルシステムズ
H24	循環器用超音波診断装置	Vivid E9 (3D)	1	GEヘルスケアジャパン
H28	心臓カテーテル用検査装置	RMC-5000M	1	日本光電
H29	生体情報モニタリングシステム	セントラルモニタ PU-621R	1	日本光電
R1	心臓血管撮影装置	Artis zee FC PURE	1	ウイン・インターナショナル
R3	超音波診断装置	EPIQ Elite Advanced G	1	フィリップス・ジャパン
R4	大動脈バルーンポンプ	IABPコンソールZUIRYU	1	ゼオンメディカル

【外科】

購入年度	品名	規格	数量	メーカー等
H30	手術用内視鏡・腹腔鏡システム	LTF-S190-10 他	1	オリンパスメディカルサイエンス販売
R3	内視鏡・腹腔鏡手術用ラパロタワー	1688AIM	1	日本ストライカー

【整形外科】

購入年度	品名	規格	数量	メーカー等
R4	Oアームシステム	0-arm 02 イメージングシステム	1	日本メドトロニック

【脳神経外科】

購入年度	品名	規格	数量	メーカー等
H26	移動型X線撮影装置	ARCADIS Varic	1	シーメンス社(ドイツ)
R1	手術用顕微鏡	MM-80	1	フジタ医科
R2	セントラルモニタ	PU-621R	1	日本光電工業
R4	内視鏡システム	VISERA ELITE OTV-S190	1	オリンパス
R4	ナビゲーションシステム	StealthStationS8	1	日本メドトロニック

【泌尿器科】

購入年度	品名	規格	数量	メーカー等
H24	体外衝撃波結石破碎装置	ソノリス アイブーム スタンダード	1	エダップ
R6	レーザー手術装置	Quanta Fiber Dust レーザー	1	エダップ

【産科・婦人科】

購入年度	品名	規格	数量	メーカー等
H9	分娩監視システム	MF-7300	1	トーイツ
H26	汎用超音波診断装置	Voluson E8 BT15	1	GEヘルスケアジャパン
H27	手術用内視鏡システム	1488カメラコンソール	1	日本ストライカー
H29	手術用内視鏡・腹腔鏡システム	1588 AIM	1	日本ストライカー
R4	腹腔鏡手術システム	1688カメラシステム	1	日本ストライカー

【眼科】

購入年度	品名	規格	数量	メーカー等
H21	眼底三次元画像解析OCT装置	RS-3000	1	ニデック
H26	眼科手術用顕微鏡	Lumera 700	1	カールツァイスメディテック
H30	白内障・硝子体手術装置	コンステレーションビジョンシステム LXT	1	日本アルコン
R2	マルチカラーレーザー光凝固装置	TruScan MLTS35	1	日本ライトメッド
R6	白内障手術機械	センチュリオンビジョンシステム	1	日本アルコン

【放射線科】

購入年度	品名	規格	数量	メーカー等
H11	X線シミュレータ	LX-40A	1	東芝メディカル
H16	磁気共鳴画像診断装置	MAGNETOM Avanto	1	シーメンス社（ドイツ）
H20	核医学診断装置SPECT-CT	インフォニア8フォークアイ4	1	GE横河メディカル
H24	マルチスライスCT装置	SOMATOM Definition Edge	1	シーメンス社（ドイツ）
H24	医療用画像管理システム		1	イメージワン
H25	放射線治療装置	エレクタシナジー P5-8他	1	東芝メディカルシステムズ
H26	磁気共鳴断層撮影装置	MAGNETOM Aera	1	シーメンス社（ドイツ）
H26	MRIソフトウェアアップグレード	「MAGNETOM Avanto」 Dot Upgrade	1	シーメンス社（ドイツ）
H27	汎用X線透視診断装置	EXAVISTA17	1	日立メディコ
H27	汎用X線透視診断装置	CUREVISTA17	1	日立メディコ
H28	全身用X線CT装置	AQUILION ONE/VISION EDITION	1	東芝メディカルシステムズ
H29	フラットパネルディテクタシステム	CALNEO Smart	1	富士フイルムメディカル
R2	放射線治療計画装置	Monaco	1	キャノンメディカルシステムズ
R3	マンモグラフィ	MAMMAT Revelation	1	シーメンス社（ドイツ）
R4	全身血管撮影装置	Azurion7M20	1	フィリップス・ジャパン
R6	放射線治療マネジメントシステム	MOSAIQ ハードウェア	1	エレクタ社

【臨床検査科】

購入年度	品名	規格	数量	メーカー等
H20	超音波診断装置	ProSound SSD-α	1	アロカ
H26*	検体検査機器	XN-3000、i2000SR、TBA-c16000 他	10	シスメックス、アボット、東芝メディカルシステムズ 他
R2	採血管準備装置	BC・ROBO-8001REID/T4161	1	テクノメディカ
R3	超音波診断装置	ALOKA ARIETTA 850	1	日立製作所
R3	検体検査機器	XN-3100、XN-1000、SP-50 他	1	シスメックス、アボット、栄研化学 他
R4	生理機能検査システム	PrimeVita PRM-4000他	1	日本光電

【滅菌管理室】

購入年度	品名	規格	数量	メーカー等
H18	洗浄滅菌システム	WD-290-50、ステラッド200 他	1	村中医療器、ジョンソン・エンド・ジョンソン
R6	器具除染用洗浄器	RU-240SNW	2	三浦工業

【薬剤科】

購入年度	品名	規格	数量	メーカー等
H19	薬剤管理指導業務サポートシステム	スーパーサポートシステムSSS	1	アイシーエム
R3	注射薬自動払い出しシステム	TX2550 M5 PYT2555T2N	1	湯山製作所

【事務部】

購入年度	品名	規格	数量	メーカー等
R1	医療用データマネジメントシステム	FINDEX	1	キヤノンメディカルシステムズ
R3	医療情報システム	MegaOak/is	1	日本電気株式会社
R6	情報ネットワークシステム		1	NECフィールディングス